

平成28年

日時

8月1日(月) 13:30~17:00

受付開始 12:45

会場

新大阪丸ビル別館 2階 会議室2-3号室

〒533-0033 大阪市東淀川区東中島1-18-22
JR新大阪駅東口より徒歩2分

漢方薬や漢方製剤の原料となる薬用作物には、国内での安定供給を求める声とともにその導入による地域活性化への関心が高まっています。しかし、薬用作物には栽培技術や品種改良が進んでいないなど、多くの課題があります。

そこで、農研機構等におけるこれまでの薬用作物関連の研究を紹介するとともに、農研機構が推進する薬用作物の生産拡大に向けた技術開発の今後の研究方向について議論するため、標記シンポジウムを開催します。皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

講演

わが国における生薬供給の課題と国内生産拡大への期待

日本漢方生薬製剤協会 浅間宏志

わが国における薬用作物研究の現状と課題

～医薬基盤研究所薬用植物資源研究センターの取り組み～

医薬基盤・健康・栄養研究所 薬用植物資源研究センター 川原信夫

北海道における薬用作物栽培の現状と課題

農研機構北海道農業研究センター 村上則幸

農研機構における薬用作物育種に向けた取り組み

農研機構次世代作物開発研究センター 大瀧直樹

薬用作物を活用した地域活性化の可能性と課題

農研機構食農ビジネス推進センター 後藤一寿

● 総合討論

参加申込

チラシ裏面、または当センター
ホームページをご覧ください



<http://www.naro.affrc.go.jp/warc/>

締切；7月25日(月)

定員；先着150名

参加無料

アクセス



JR新大阪駅東口より 徒歩2分

地下鉄御堂筋線新大阪駅⑤、⑥番改札出口より徒歩8分

13:30 ~ 13:35 **開会挨拶** 農研機構

13:35 ~ 15:50 **講演** 司会 農研機構西日本農業研究センター 四国農業研究監 中野正明

- わが国における生薬供給の課題と国内生産拡大への期待
日本漢方生薬製剤協会 生薬委員長 浅間宏志
- わが国における薬用作物研究の現状と課題 ～医薬基盤研究所薬用植物資源研究センターの取り組み～
医薬基盤・健康・栄養研究所 薬用植物資源研究センター センター長 川原信夫
- 北海道における薬用作物栽培の現状と課題
農研機構北海道農業研究センター 水田作研究領域 水田機械作業グループ長 村上則幸
- 農研機構における薬用作物育種に向けた取り組み
農研機構次世代作物開発研究センター 畑作物研究領域 カンショ・資源作物育種ユニット長 大渦直樹
- 薬用作物を活用した地域活性化の可能性と課題
農研機構食農ビジネス推進センター 食農ビジネス研究チーム上級研究員 後藤一寿

15:50 ~ 16:00 休憩

16:00 ~ 16:55 **総合討論** 司会 農研機構西日本農業研究センター 産学連携コーディネーター 長崎裕司

16:55 ~ 17:00 **閉会挨拶** 農研機構西日本農業研究センター 所長 竹中重仁

※農研機構は、国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構のコミュニケーションネーム（通称）です。

参加申込

申込締切 平成28年7月25日(月)

下記参加申込書または同内容を、FAX、電子メール、郵送のいずれかにより、以下の申込先へお送りください。

申込先 〒765-8508 香川県善通寺市仙遊町1-3-1
農研機構西日本農業研究センター四国研究拠点 企画連携チーム
【Fax】 0877-63-1683 【電子メール】 warc_sympo@ml.affrc.go.jp

- ※ ご提供頂いた個人情報は、当シンポジウムの運営に係ること以外には使用いたしません。
- ※ 定員になり次第締め切りとさせていただきますので、お早めにお申込みください。定員を超過し、お断りする場合がございます。
- ※ 当センターホームページ <http://www.naro.affrc.go.jp/warc/> からのご案内しています。イベント・セミナー一覧をご覧ください。

----- きりとり線 -----

農研機構シンポジウム(8月1日) 参加申込書

農研機構西日本農業研究センター四国研究拠点 企画連携チーム (Fax. 0877-63-1683) あて

ふりがな お名前	所属または職業	住所 (都道府県まで)	連絡先 (電話番号、メールアドレス等)